

おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 数と計算 /  
おうちの方へ / 理解シート

「10と で, 11」の 求め方は,  
どのように指導すればよいのですか



10と□を合わせると11になることから, 11は, 10と□と考えます。



11は, 10と□から考えます。

このような記述の問題は, 1年生にとって大変難しい分野です。

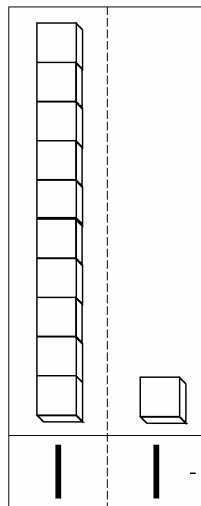
文章のままの形では, 考えを進めていくことができないからです。

「10と□で, 11」から, あるものとあるものを合わせた結果が11ということがわかれば, 「11は, 10と□」ということに気づきます。

この形になれば, 教科書に, ブロックを使った考え方が紹介されています。

11をブロックに置きかえて, 考えてみましょう。

11 →



- ブロックが, 11個あります。
- ブロックは, 10個のまとまりといくつになるか, 考えます。

• 1のブロックが, 1個あります。

• 10のまとまりのブロックが, 1個あります。

• 11は, 10と  になります。

• 「10と□で, 11」の□は, 1になります。

このような考え方を身につけると, よいでしょう。

数量のイメージが, 1年生の頭の中に形成されるまでは, ブロックを使って, 考え方を定着させるようにしましょう。